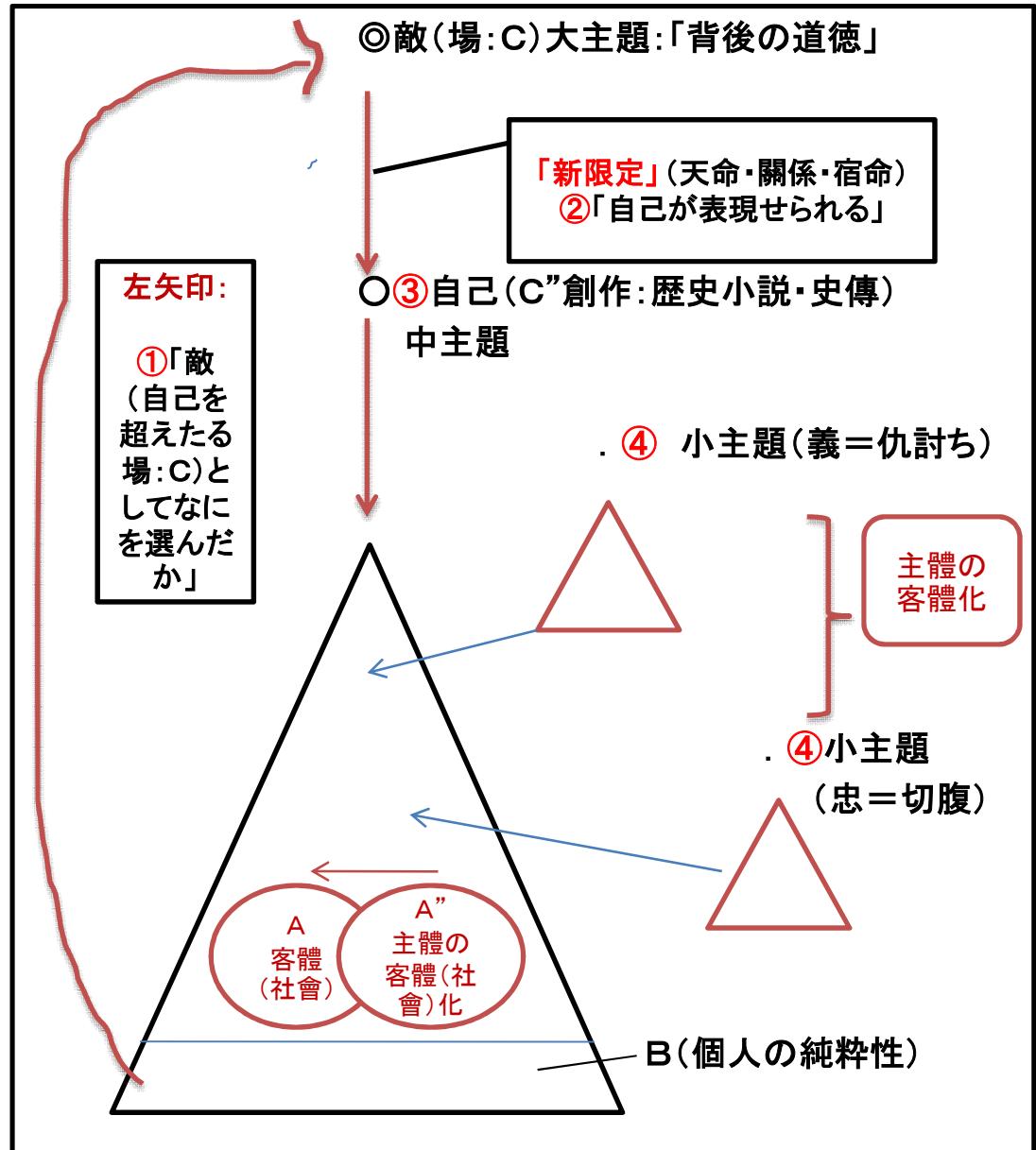


「われわれが敵(自己を超えたる場:C)としてなにを選んだかによつて、そしてそれといかにたたかふ(宿命/自己劇化)かによつて、はじめて自己は表現せられる(創作対象に)のだ。・・」(『自己劇化と告白』)⇒圖解次頁

各文人別 「われわれが」	大主題 (C) の發見： 「敵 (自己を超えたる 場)」	「新限定」 (天命・關係・宿命) 「としてなにを選ん だか (宿命選擇)」に よつて」	中主題 (C" 文學) の創造： 「そしてそれといかにたたか ふ (宿命/自己劇化) かによ つて、自己が表現せられる」	小主題の創作 「表現せられる (創作對象 に)」即ち「現實的客體化」
森鷗外	「背後の道徳」	天命 (儒教道徳 = 至 誠・武士道)	歴史小説・史傳	義 = 仇討 ち = 『護持院原の敵討 』 ・忠 = 切腹 = 『堺事件』 ・孝 = 『高瀬舟』 ・全般 = 『渋江抽斎』 等々
漱石	「背後の道徳」	天命	「自己本位」 (彼我の差に踏み留まる?)	小主題 (『私の個人主義』・各小 説他)
二葉亭	「國家」=Cの代はり	國命	國士として活動	洋行
ルソー	「神」	神意	『告白録』	神・C: 「思想に自己を賭けた」 描写 P 414 下
フローベール	夢想 (理想人間像)	神意	近代自我 (個人主義) 否定	『ボヴァリー夫人』他。 (神・ C・夢想「思想に自己を賭けた」 描写。しかし、夢想は作品には 登場しない)
チエーホフ	「空家 (神不在)」にたへ る	「無執着」「底意のな い眼」	近代自我 (個人主義) が自己解釈 「獨り合點」する意識 (D 3) を 「在るがままに描く」	各戯曲・小説 他
ハムレット	先王の亡靈 (C: 王權神 授)	君命: 王權奪還「關節 を治す」	復讐	各章: 「めまぐるしく行動しなが ら、意識の世界では (敵・新限定 から) 一歩も動かず」
恒存	絶對・全體	誠實	「關係と言ふ眞實を生かす」=フ イクション	文學評論・演劇・政治論 他

《本文9頁》:敵(自己を超えたる場C:例「天」)⇒關係・宿命(D1例:天命)⇒自己(C")の活動(例:鷗外「歴史小説」)…以下構圖の、「完成せる統一體としての人格」論(テキストP10圖)、及び演劇論(テキストP11圖)との相似形に留意されたし。即ち①⇒②⇒③⇒④の流れに。(『自己劇化と告白』)



* 左図を詳細に記すと、鷗外の場合は以下の通りとなる(拙文『口邊に苦笑』参照)。

大主題(C)の發見「背後の道徳」⇒天命・宿命・新限定⇒中主題(C"文學:歴史小説・史傳の創作)⇒小主題:客體化(義=仇討ち=『護持院原の敵討』・忠=切腹=『堺事件』・孝=『高瀬舟』・全般=『渋江抽斎』等々)の創作と言う能動となる。

* それぞれの大主題(C)の發見⇒中主題(C"文學:歴史小説)の創造⇒小主題

・漱石の場合は、
大主題(C)：「背後の道徳」⇒天命・宿命・新限定⇒
中主題C”自己本位”(彼我の差に踏み留まる?)
⇒小主題(『私の個人主義』:各小説他)。

- ・ルソーの場合は、
大主題(C)：「神」⇒神意・宿命・新限定⇒中主題
(C)『告白録』⇒小主題(神・C)：「思想に自己を
賭けた」描寫 P141下)

・フローベールの場合は、
大主題(C):夢想(理想人間像)⇒**神意・宿命・新限
定**⇒中主題(C")近代自我(個人主義)否定⇒小主
題(『ボヴァリー夫人』他。(神・C・夢想「思想に自己
を賭けた」描写。しかし、夢想は作品には登場しない)

- ・ハムレットの場合は、
大主題:先王の亡靈(C:王権神授)⇒君命・宿命・
新限定(王権奪還「關節を治す」)⇒中主題(C":復讐)
⇒小主題(各章:「めまぐるしく行動しながら、意
識の世界では(敵・新限定から)一歩も動かず」)

・二葉亭の場合は、
大主題(C)：「國家」⇒國命・宿命・新限定⇒中主題
(C'：國土として活動)⇒小主題(洋行)

・恒存の場合は、
大主題(C:絶対・全體)⇒**關係・宿命・新限定(誠實)**⇒中主題(C)「關係と言ふ眞實を生かす」ifik
シヨン)⇒小主題(文學評論・演劇・政治論)

・チーホフの場合は、
大主題(C)：「空家(神不在)」にたへる⇒宿命・新限
定(「無執着」「底意のない眼」)⇒中主題(C')近代
自我(個人主義)が自己解釈「獨り合點」する意識
(D3)を「在るがままに描く」⇒小主題(各戯曲他)